

7月における水稲の病害虫の発生状況は以下のとおりです。
巡回調査(56 地点)は、上旬(7月1～2日, 5～6日), 中旬(15～16 日, 19～21 日)に実施しました。

○ いもち病 (葉いもち)

- ・上旬の巡回調査では、発生地点率は 5.4%となり平年より高い状況でした。なお、同時期の葉いもちの発生は直近 10 か年、確認されていませんでした。
- ・中旬の巡回調査では、発生地点率は 30.4%となり平年(発生地点率 4.0%)より高い状況でした(図1)。

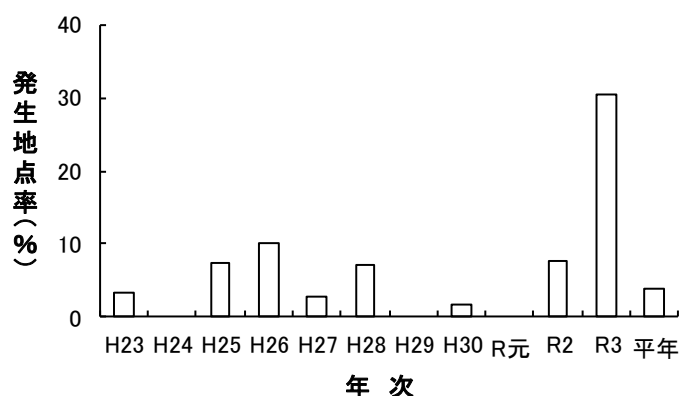


図1 葉いもちの発生地点率の推移(7月中旬)
調査株数:1,000 または 2,000 株 平年:過去 10 か年平均

○ 紋枯病

- ・上旬の巡回調査では、発生地点率は 10.7%, 発病株率は 0.4%で、いずれも平年(発生地点率 2.6%, 発病株率 0.1%)より高い状況でした。
- ・中旬の巡回調査では、発生地点率は 1.8%, 発病株率は 0.1%, 発病度は 0.02 で、いずれも平年(発生地点率 6.1%, 発病株率 0.6%, 発病度 0.06)より低い状況でした(図2)。

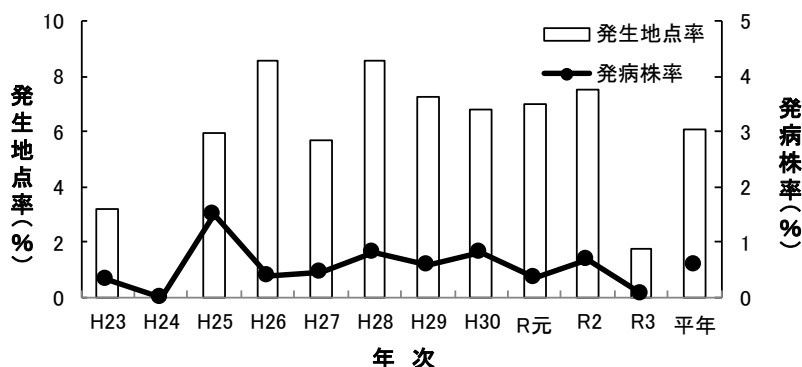


図2 紋枯病の発生地点率及び発病株率の推移(7月中旬)
調査株数:25 株 平年:過去 10 か年平均

○ 白葉枯病, 縞葉枯病, ごま葉枯病

- ・中旬の巡回調査では、発生は確認されませんでした。

○ 斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ)

- ・上旬の調査では、水田周辺の牧草地、雑草地及び畦畔におけるアカスジカスミカメ成虫は発生地点率が29.6%で平成(47.0%)より低く、すくい取り虫数の平均は10.1頭で平成並(15.7頭)でした。
- ・中旬の巡回調査では、発生地点率は48.1%で平成(48.4%)並、すくい取り虫数の平均は62.7頭で平成(19.2頭)より多い状況でした(図3)。

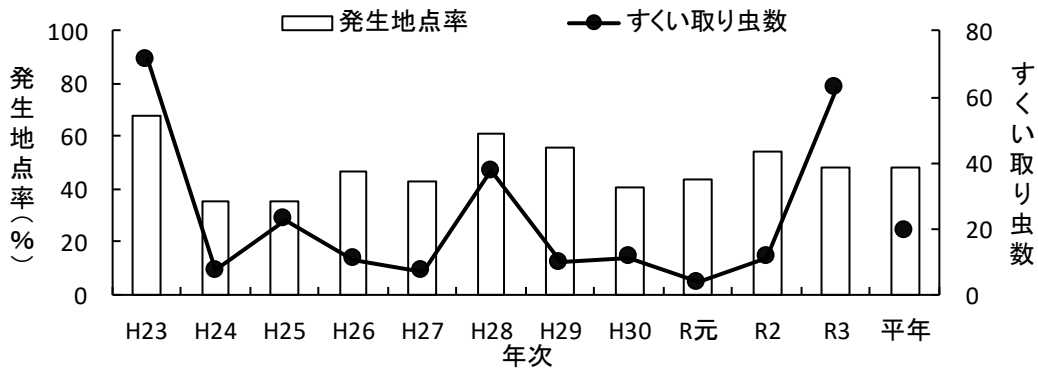


図3 水田周辺の牧草地、雑草地及び畦畔におけるアカスジカスミカメ成虫のすくい取り調査結果の推移(7月中旬)

20 回振り調査, 平成:過去 10 か年平均

○ イネアオムシ(フタオビコヤガ)

- ・上旬の巡回調査では、水田におけるイネアオムシの発生地点率は1.8%, すくい取り虫数の平均は0.02頭でともに平成(発生地点率7.9%, すくい取り虫数0.2頭)よりやや低い状況でした。
- ・中旬の巡回調査では、発生地点率は3.6%で平成(25.0%)よりやや低く、すくい取り虫数の平均は0.4頭で平成(2.4頭)並の状況でした(図4)。

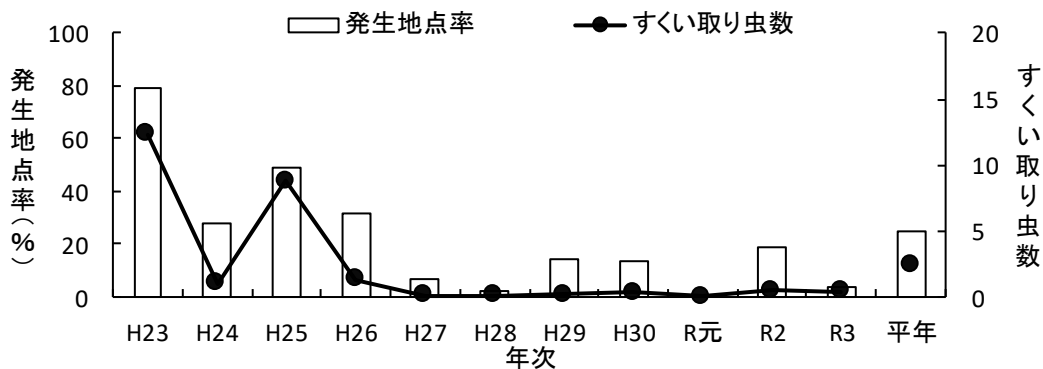


図4 水田におけるイネアオムシのすくい取り調査結果の推移(7月中旬)
20 回振り調査, 平成:過去 10 か年平均

○ コバネイナゴ

- ・上旬の巡回調査では、水田におけるコバネイナゴの発生地点率は83.9%, すくい取り虫数の平均は22.6頭でともに平成(発生地点率45.9%, すくい取り虫数4.1頭)より高い状況でした。
- ・中旬の巡回調査では、発生地点率は96.4%で平成(72.5%)よりやや高く、すくい取り虫数の平均は10.7頭で平成(13.9頭)並の状況でした(図5)

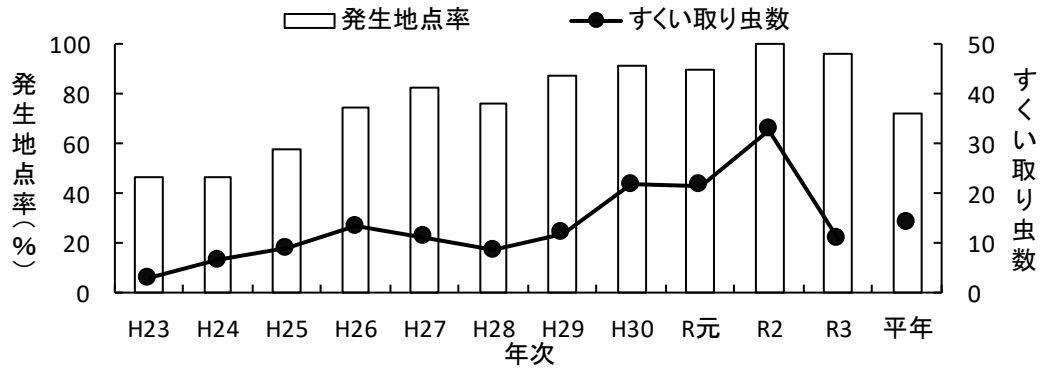


図5 水田におけるコバネイナゴのすくい取り調査結果の推移(7月中旬)
20回振り調査, 平年:過去10か年平均